

## 巻頭言

愛知教育大学健康支援センター センター長・教授 田中 優司

2022年は引き続き、新型コロナウイルスが医療界のみならず、社会全体・全世界に影響しています。オミクロン株が世界各国で感染が拡大し、日本国内においても置き換わりが進み、第6波から第8波につながっています。重症化率は低いといわれていますが、感染者数が急増しています。皆さまには引き続きの対応をお願いします。

さて備忘録的な記事になりますが、2022年の医療界のニュースを紹介します。今年は新型コロナウイルス以外にも医療関係のニュースがありました。

一番目は悲しいニュースですが、2月にロシアがウクライナに侵攻、病院などの医療機関も攻撃対象になっています。WHOによると、現時点までに医療関連施設が攻撃されたケースは700件を超えています。また現地や周辺国には国境なき医師団などが医療支援に入り、日本人医師も派遣されているとのことでした。

二番目も残念なニュースですが、7月に安倍元首相が銃撃を受け、奈良県立医大に搬送され亡くされました。かなりの救命処置がなされたようですが、残念な結果となりました。

三番目は、厚生労働省は2022年4月からHPVワクチンの積極的勧奨を約9年ぶりに再開したことです。積極的勧奨の再開と合わせて、接種機会を逃した人々への「キャッチアップ接種」や定期接種の対象年齢を過ぎて自費で接種した人への費用償還等の対応も市区町村において実施されています。対象となる方にはご検討していただければと思います。

新型コロナウイルスにつきまして繰り返させていただきます。学生・教職員におかれましては引き続き、感染予防対策が重要であります。また学業に関すること、経済的なこと、こころに関することなどにも多くの影響を及ぼしています。センターでは様々な対策をすすめておりますので、対応させていただきたいと思っております。

今後、健康支援センターでは学生・教職員の健康支援をすすめていきます。

今後ともよろしく申し上げます。